

2022年度 海外協定校長期派遣学生

募集要項

～文部科学省世界展開力事業・アフリカ派遣～

* アフリカ以外の地域への留学希望者は「2022年度海外協定校長期派遣学生募集要項」を確認してください。

世田谷：グローバル連携センター

厚木：学生教務課

オホーツク：学生教務課

はじめに

本プログラムは、休学せず本学に在籍扱いのまま、海外協定校に半年または1年間留学する制度です。語学力向上を主目的とせず、語学を使って正規授業の履修、または専門分野の学習や研究を行なう意欲を持つ学生を、学部を問わず募集します。渡航準備金として20万円が支給され、留学中の本学の授業料は全額免除されます。

また、本学は2020年度より文部科学省世界展開力事業に採択されました。これにより、長期派遣留学をする一定の条件を満たす学生に対し、【毎月6万円】の奨学金が支給されることとなりました。

プログラム概要

交換留学					
プログラム内容	留学先大学での正規授業の履修				
留学先	ソコイネ農業大学（タンザニア） ジョモケニヤッタ農工大学（ケニア）				
派遣人数	各校2～4名程度				
募集・留学時期	出発	募集受付	選考会（面接）	合格発表	留学時期（目安）
	後学期	1月7日 ～ 1月14日	1月31日	2月中旬	翌年8,9月から 半年又は1年
募集・留学時期	留学時期は、半年または1年間（365日を超えることはできない）のいずれかを出発前の手続き時に選択し、留学中の変更は不可。 *学期制度が異なるため、留学先協定校によって学期途中での帰国の可能性もある。 *留学時期の選択にあたっては各学科の必修科目、各種資格課程の履修条件を考慮し、学科の教員とも相談のうえ、決定すること。 *留学時期は、原則、半年の場合は5ヵ月以上、1年の場合は10ヵ月以上であること。				

応募資格	<p>1) 留学時に本学の<u>学部2年生以上（院生含む）</u>であること（特別留学生は除く）。学部4年生は、次年度に東京農業大学大学院に在籍する予定の場合のみ出願可とするが、次年度在籍しないこととなった場合には、留学候補生となることはできない。 *協定校により、学部2年及び院生の受入れ不可の場合があるため、該当する学生は募集受付期間の事前にグローバル連携センターに相談すること。</p> <p>2) 心身共に健康であること。</p> <p>3) 留学費用を負担できること。</p> <p>4) 保護者および指導教員から許可を得ていること。 *留学を希望する者は保護者および指導教員と相談した上で、応募書類を作成し、申し込むこと。</p> <p>5) 本学学業成績が原則として通算GPA2.3以上。</p> <p>6) 基準を満たす語学検定スコアを提出すること。（基準スコアTOEFL iBT45、TOEFL ITP 450、TOEIC500）</p> <p>*語学要件は応募時に書面で証明し、かつ面接時に口頭で証明する。</p>			
単位認定	<p>留学中に修得した単位は、他学部・他学科聴講・大学間履修等により学部生は30単位、大学院生は10単位を超えない範囲で認定を申請できる。 ただし、認定される単位数は、学年・学科により異なる。</p>			
本学費用	<p>留学中の本学の学費は、諸会費を除き全額免除される。</p>			
本学奨学金	<p>渡航準備金20万円が支給される。（返済不要）</p>			
外部奨学金	<p>日本学生支援機構（JASSO）より月額6万円の奨学金が支給される。（返済不要） *一定の家計基準を満たす場合、渡航支援金32万円の申請も可能。（返済不要）</p>			
留学先情報	留学先	留学先授業料	生活費（目安）	学生寮
	ソコイネ農業大学 （タンザニア）	免除	約10～20万円 /1学期	有
	ジョモケニヤッタ農工大学 （ケニア）	免除	約83～100万円 /1学期	無 （学内にゲストハウス有）
学籍	<p>留学期間中の本学における学籍は「留学」となり、本学在籍年数に含まれる。</p>			
卒業時期	<p>帰国後、卒業まで最低半年は本学に在籍する必要がある。</p>			

2. 応募書類

- 1) 留学願書（様式1）
- 2) 個人調査書（様式2）
- 3) 本学指導教員（所属学科内助教以上教員）の推薦書（様式3）
- 4) 成績台帳「科目ごとの成績」「GPA」「単位習得状況」（学生ポータルからプリントアウト）
- 5) 健康診断書（証明書発行機からプリントアウト）
- 6) 作文「私の留学計画」（様式4）字数：800字以上1200字以内
- 7) 語学検定スコアのコピー
- 8) 大学院合格通知（次年度、東京農業大学大学院進学予定者のみ）
- 9) 海外派遣プログラム誓約書

3. 選考要領

- 1) 留学計画に関する作文
- 2) 本学学業成績
- 3) 語学能力
- 4) 個人面接：面接官複数対学生1名の面接をZoomにて実施する。

4. 留学生の義務

1) 留学中の経過報告書（A4サイズ2枚）の提出＊締切厳守

- ① 出発1ヵ月後 ② 出発3ヵ月後 ③ 出発半年後 ④ 出発8ヵ月後（留学期間が半年の場合は不要）

2) 帰国後の各種報告書の提出

- ① 留学先協定校大学の成績表（英文）
- ② 留学先協定校大学あるいは学部発行の修了証書
- ③ 「帰国届」
- ④ 留学に関する報告書（A4サイズ5枚）程度

3) 帰国報告会での報告

次年度留学希望者に対する募集説明会を兼ねた帰国報告会で、帰国報告を行うこと。

4) 各種世界展開力事業での活動

世界展開力事業に関する活動に参加すること。（アフリカンカフェやシンポジウム等）

5) 留学先での専門科目の履修・単位修得

5. コロナ禍における派遣条件

出発予定日の2ヵ月前の時点において、以下の全ての条件がクリアされていない場合は派遣を取り止めることとなります。

- 1) 派遣国への入国及びトランジットに必要な査証取得が可能となっている。
- 2) 派遣先大学の受入体制が整っている。
- 3) 海外安全レベルは「危険情報」、「感染症危険情報」とともにレベル1以下である。

ただし、上記1)～2)がともにクリアされているものの、3)海外安全レベルのうち、「感染症危険情報」のみがレベル2（「危険情報」はレベル1以下）である状況においては学生本人及び保護者のプログラム参加に係る強い希望と同意（誓約書の提出）があり、下記の条件を満たす場合に限り派遣を行うこととします。

- ・ 本学指定旅行会社での航空券手配及び渡航サポートサービスの利用
- ・ 危機管理・危機回避サービスへの加入

また、JASSO 奨学金は、海外安全がレベル1以下であることが支給条件となっていますが、コロナ禍の特例として「感染症危険情報レベル」が2または3である国・地域の大学へ留学においても「9ヵ月以上の長期留学」には給付を行っています（2021年12月現在）。

ただし、これらの条件は今後見直される可能性があります。